

令和2年度事業計画

1 はじめに

昨年度は、戊辰戦争終結150周年記念事業を地域連携で実施した効果やゴールデンウィークが10日間となった効果で大幅に伸びておりました。しかし、新型コロナウイルス感染症が発生した2月以降は減少に転じましたが、目標人数1万9千人を確保することができました。観光産業は、自然災害、感染症、連休、天候などによる影響は多大であり安定運営は非常に難しいことがここ数年で実感させられました。

管内の、昨年度入込状況を見ますと、函館市の上期における観光入込客数は、約34万3千900人で前年比5.8%の増、江差町は16,330人で19.1%の増となり1昨年の地震災害における減少から回復している結果となりました。しかし、昨年発生した新型コロナウイルス感染症が長引くと5月の連休に影響を及ぼし、大幅な減少は避けられない状況が推察されます。一日も早い収束を望んでいるところです。

こうした動向ではありますが、今年は開館30周年の節目の年であり記念事業の実施、昨年度から取り組んでいる「道南各町等」や「アートギャラリー北海道」連携館との地域連携事業に取り組み集客に努めること、また、町内関係機関や江差観光みらい機構と連携した首都圏誘致活動を継続していくことで観光地北海道江差町の認知度を高めることで集客に努めてまいります。

さらに、課題である財団施設の改修については、これまで得られた資料を基に調査設計の検討段階にはありますが、改修後のランニングコストや資料館展示のリニューアル等も含め設計に向けた議論をする場として改修計画策定業務の実施について町と協議して参ります。

こうした状況化にありますが、財団の安定的な運営を図るため職員上げて経営改善と入館者確保対策に取り組んで参ります。

2 事業の概要

(1) 経営方針

① 入館者対策について

今年度は、戊辰戦争終結150周年記念事業実行委員会の継続やどうなんアートリンク参加施設等と地域連携による広域事業に積極的に参画し集客に努め総入館者数を19,000人と見込みます。

<入館者対策>

- ・ 開陽丸記念館開館30周年の記念の年となることから記念事業の実施に取り組み集客に努める。
- ・ 戊辰戦争終結150周年記念事業実行委員会を継続する組織が行う各種事業に参画し集客に努める。
- ・ 「アートギャラリー北海道」連携館との相互割引やスタンプラリー事業を実施することで集客に努める。
- ・ 町内関係団体と連携した首都圏誘致宣伝行動を実施し集客に努める。
- ・ 町内旅館業者に割引券の配布及び渡島桧山管内の道の駅にパンフレット等を配布し集客に努める。
- ・ SNSを活用した情報の発信による集客に努める。
- ・ 無料ガイドのPRによる開陽丸記念館の魅力向上に努める。(HP発信)
- ・ 各種割引制度の拡充による入館者の確保に努める。

【小中学生の研修旅行】

- ・ 開陽丸記念館入館中学校に対し礼状の送付と研修入館継続の案内による集客に努める。
- ・ 渡島桧山管内の入館実績のない中学校に対し研修入館の誘致に努める。
- ・ 青森市内小学校に対して研修入館の案内を送付し誘致に努める。
- ・ 函館市内学校研修企画旅行事業者に対し記念館利用の誘致に努める。

【情報発信の取り組み】

- ・ 写真資料、映像資料等の無償提供することで情報発信をする。
- ・ テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等の取材に協力し情報発信をする。

② えさし海の駅の活用について

- ・ 「江差町観光情報総合案内所」は、北海道江差観光みらい機構と協力し引き

続き双方の窓口業務を行うとともに、ロビーを活用した江差を紹介する写真展を開催し観光客等に対するサービスの向上に努めます。

- ・ 観光バリアフリーレジャー用品等貸出事業を有料化で実施します。
- ・ 図録等の販売については、「ぷらっと江差」に引き続き販売委託します。

③ 開陽丸子孫の会との連携協力について

開陽丸の魅力を全国へ発信することは重要であり今後も関係者との交流、連携を図って参ります。

(2) 青少年研修事業等の推進について

- ① 春と夏の研修事業 「クイズで知ろう！開陽丸」(有料)を実施
- ② 30周年記念事業 「ロープワークを学ぶ」、「オランダ展」等の実施

(3) マリーナ指定管理業務

- ・ 江差港マリーナ指定管理業務の更新(期間: H31. 4. 1~令和 5. 3. 31)
- ・ 江差港マリーナの管理・運營業務(浮棧橋・ボートリフター等)
- ・ 周辺施設の管理・運營業務(徒渉池、遊漁池・緑地草刈り等)
- ・ ヨット競技大会及びマリンフェスタ事業等への連携協力
- ・ マリンスポーツ交流センターが実施する事業等への連携協力

(4) 開陽丸友の会との連携

- ・ 友の会と連携し「開陽丸を語る会」事業を実施。
- ・ 21世紀新聞のホームページ活用(第23号の発行協力)
- ・ 友の会運営への連携協力(H31年度から事務局会計事務を担当)

(5) 北海道内美術館との広域連携

- ・ アートギャラリー北海道との連携(関連事業参加登録)の継続
- ・ 北海道立函館美術館との相互連携の継続

- ・道南地域連携館との相互割引「どうなんアートリンク」の継続

(平成2年度から五稜郭タワーが連携施設として加入し相互割引に参加する。)

(6) 箱館五稜郭祭実行委員会との連携

- ・戊辰戦争終結150周年記念事業実行委員会が箱館五稜郭祭実行委員会の中に部会として組織され今後9年間広域連携事業を継続展開する 連携継続

(7) その他

① 施設改修等

- ・消防設備不良箇所修繕(管理棟及び記念館)
- ・開陽丸管理棟屋外2階窓枠修繕
- ・開陽丸管理棟屋外破風修繕
- ・開陽丸管理棟入口横はめ殺し窓木枠修繕
- ・開陽丸記念館ビデオ上映機器取替

② 今後の理事会及び評議員会日程について、次のとおり予定します。

<今後の会議日程(予定)>

1 監事監査	令和2年4月24日(金) 午前10時
2 第1回理事会	令和2年5月15日(金) 午前11時
3 定時評議員会	令和2年5月29日(金) 午前11時